

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 多摩市立青陵中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 206-0012

東京都多摩市貝取2-9-1

E-mail daihyo-seiryu-chu@city.tama.ed.jp

Website http://schit.net/tama/jhseiryu/

幼児児童生徒数 男子 163名 女子 164名 合計 327名

幼児・児童・生徒の年齢 歳～ 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「2050年の大人づくり」を学校理念とし、広範なESDを焦点化させるために、「未来を切り拓く、課題解決力の育成」を重点とし、ESDの視点を意識しながら教育活動に取り組んでいる。

中でも以下の6つのことを大切にしている。

1. 課題意識を持ち、自律的に取り組ませる。
 2. 答えが簡単に見つからない問題に自分の考えを持たせる
 3. 自分の意見を伝え、他者との対話や合意形成することを大切にする
 4. 外部の多様な人との交流の機会を豊富にする
 5. 実社会の課題を扱い、地域や日本、世界、そして自分の将来を見つめさせる
 6. 総合的な学習の時間を軸に、各教科でも取り組む
- これらをベースに、今年度は各学年で以下の活動を実施した。

- ① 1年 ・ドリームマップ作成
・STP (S: 商店街をT: 楽しく元気にするP: プロジェクト)
- ② 2年 ・江戸東京の魅力探求 ・地域の仕事と社会貢献 (職場体験)
- ② 3年 ・未来に残そう日本の魅力 ・2050年 多摩市への提案

①「STP（S：商店街をT：楽しく元気にするP：プロジェクト）」

地域の課題を見つける力と課題解決力を育み、協力協同しようとする態度を養うことをねらいとし、地域の商店街の活性化をおこなった。それぞれクラスで商店街を活性化させるべく、計画立案し、「商店街を楽しく元気にするプロジェクト」と題し、以下の内容をそれぞれ実施。

- ①物々交換、BOOK 交換マーケット
- ②商店街アートプロジェクト
- ③商店街スタンプラリー
- ④商店街・今昔写真館

地域の方々や保護者の反響も大きく、実施後に、生徒が達成感を得られることができた。また、生徒は商店街の実状を知ることができ、地域の担い手としての意識を育むことができた。



②「江戸東京の魅力探求」

伝統工芸の体験や継承者への取材等を通じて「伝統文化の魅力や価値」について探り、発信することをねらいとし、実施した。江戸切子といったガラスづくりをはじめ、銀細工など伝統工芸の体験を全員が行い、江戸の魅力を肌で感じた。そして、その魅力を伝えるべく、各々がポスターを作成し、グループでPR（発表）をおこなった。1年次の多摩の地域学習から東京都という枠組みへと視野を広げていき、国際理解や多様性を学んでいく機会となった。

③「未来に残そう日本の魅力」～「2050年多摩市への提案」

修学旅行での民泊体験を通して、古き良き日本の伝統文化やくらしを実体験。その魅力を発信すべく、各自がプレゼンを実施した。2年次の東京都の学習から日本という枠組みへと視野を広げていった。

そして、再び自分たちの住む地域へと視点を戻し、「2050年多摩市への提案」と題し、政策提言を実施。多摩市の抱える課題の解決方法を提案するというプレゼンを各生徒がおこなった。多摩市を活性化させる取り組みや、PR活動など、ユニークな発想が出され、有意義な学習となった。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

校長の学校経営方針にESD、SDGs、ユネスコスクール等について、方向性を示している。各教科、領域、総合的な学習の時間、アクティブラーニングを通して、将来の課題解決に向けた学習をおこなっている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ESDカレンダーや、各教科の指導計画でESDの重点を示し、ESDコーディネーターを決め、組織的に推進している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部、外部からの学校評価にESDやユネスコスクールとしての実践や、その質について評価項目を設定し、年度途中や年度末に改善をはかっている。今年度は、評価方法について改善をはかった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

多摩市のESD研修会で、本校の活動を発表した。また、「多摩市子どもみらい会議」で実践内容を交流している。さらに、日本教育新聞の取材を受け、全国に発信した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

多摩市教育委員会、恵泉女子大学、玉川大学、にしがわ大学、市内外のユネスコスクールと連携をはかっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

市内の全小中学校がユネスコスクールである活動を続け、情報交換もおこなっている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

まず、生徒の主体性が向上している。また、地域との連携をした学習が充実するとともに、学習を地域の課題解決に役立てるよう、学校支援本部との連携も強化されている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

主体的に課題を迫及する探究的な学習を通して、問題解決力やコミュニケーション力、よりよい社会の形成に参画しようとする態度等、国際社会で生きる資質や能力を育成するための活動を実施する。

1年生：地域活性化、課題解決をはかる学習

2年生：キャリア教育、社会貢献 伝統文化の探究

3年生：「2050年 多摩市への提言」市役所や市議会議員への政策提言主として、総合的な学習の時間や特別活動を通じて、これらの活動をおこなっていく。